

地域包括ケアに携わる多職種合同研修会

～ 「顔の見える関係」から「多職種協働」、そして「チーム北空知」へ ～

「第1回ケア・カフェきたそらち

弁護士さんに聞く！身寄りのない方の支援 開催報告

- ・日 時 令和5年11月15日(水) 18:00～19:58
- ・開催方法 オンライン(ZOOM)
- ・主 催 北空知地域医療介護確保推進協議会
- ・参加者 60名(事前申込者55名 欠席2名 追加申込7名)
(市町別:深川市39名、妹背牛町5名、秩父別町3名、北竜町5名、沼田町8名)
(職種別:医師7名、歯科医師2名、弁護士1名、薬剤師1名、看護職14名、保健師13名、その他医療職3名、介護支援専門員5名、介護福祉士1名、社会福祉士4名、ソーシャルワーカー2名、相談員3名、管理者2名、行政職2名)
- ・目 的 北空知における地域包括ケアシステムの構築を目指して、地域の保健・医療・介護・福祉の関係機関・施設・事業所等において、患者や利用者、地域住民の支援に携わる多職種の関係職員が一堂に会することが困難な状況にあっても、互いの役割を確認・共有し、切れ目のない支援・サービスが提供される多職種連携の関係作りを構築する。



令和5年度初めてのケアカフェでした。新型コロナウイルスも今年の5月8日以降5類に移行し、集合でのケアカフェも検討しましたが、参加者に医療関係者も多く、集団での感染のリスクも考えオンライン(Zoom)での開催を選択しました。

多職種合同研修企画小部会
神薙小部会長が司会を行いました。



バックミュージックで話
しやすいカフェの雰囲気
は演出できたかな？





開会挨拶は、
深川市市民福祉部高齢者支援課の
黒田隆之課長です。

深川総合法律事務所 弁護士
石井 洋文さんから、
「弁護士さんに聞く！身寄りのない方の支援」
として話題提供



○令和5年度第1回研修会は、身寄りのない方の支援を題材として、従前に引き続きオンラインで開催しました。

○話題提供は、深川総合法律事務所 弁護士 石井洋文さんから、成年後見制度、財産管理契約、死後事務委任契約、遺言書作成など、身寄りのない方の支援に対して必要と思われる情報などをわかりやすく説明・紹介していただきました。

- ・65歳以上の人口の中で一人暮らしの人が占める割合
R2年 男性 15.0% 女性 22.1% (令和5年高齢者白書より)
身寄りのない方の割合は今後も増加していくと思われる。
- ・身寄りのない方の不安は、財産管理、身元保証人、死後事務に関する不安がある。
- ・身寄りのない方の支援として判断能力がない方は、成年後見制度、判断能力がある方は、任意後見制度、財産管理契約、見守り契約などある。
- ・判断能力がある身寄りのない方については、①財産管理契約締結 ②遺言書作成 ③死後事務委任契約の締結により、死亡時対応の不安を払拭できる。
- ・医療同意に関しては、原則本人しか同意権を持っていない。事例としては財産管理契約を結び、身寄りのない方に関しては、医師からの重要な説明を弁護士が受け、説明を受けたという趣旨で同意書に署名、捺印を行ったことがあるが、この方法が正解といえるものとも言い切れない。
- ・医療行為に関しては、判断能力があるうちに、本人に治療方針、延命処置などについて書面に残しておいてもらうことが重要。
- ・第三者が行う死後事務は、本人が困らないよう最低限のことはできるが、細かいニーズにこたえることまでは難しい気がする。
- ・契約を行うにあたって、信頼関係の構築が困難な方については引き受けが難しい。例として嘘をつく人、暴力をふるう人、犯罪行為を行う人、無理難題を要求する人など。

1 自己紹介



- ・大阪府出身（20台後半まで）
- ・旭川に2年、深川には10年お住まい
- ・取扱いの主要分野は相続、後見、交通事件。
(三つだけで受任事件の7割位。)
- 弁護士会の高齢者関係の委員会に所属

2 身寄りの無い方の増加

65歳以上人口の中で一人暮らしの人が占める割合
令和2年 男性 15.0% 女性 22.1%
(令和4年高齢者白書より)
→ 今後、この割合はより増加し、身寄りのない方の割合も今後増加していくと思われる。



3 身寄りのない方の不安



- ① 財産管理が出来なくなったときに自分に代わって対応してくれる人がいない。
- ② 身元保証人が確保できず、施設入所・入院に支障が生じる。
- ③ 死後の財産の処理や火葬納骨など死後の事務処理をする人がいない。

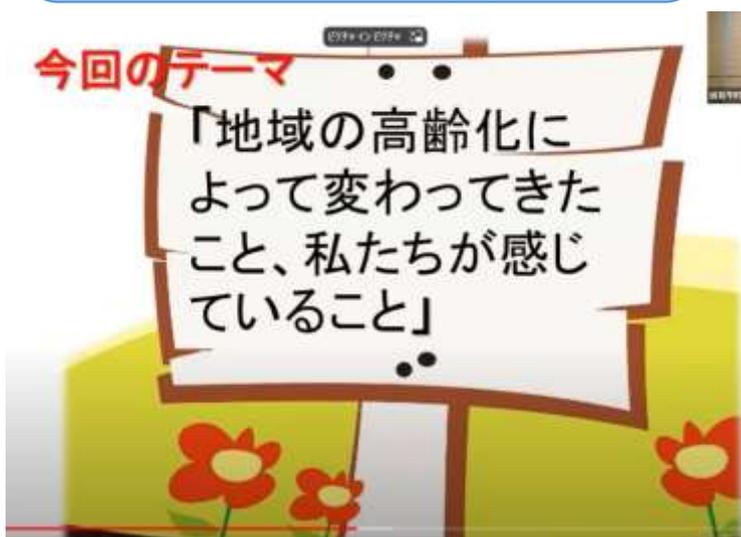
※これらは一問です。

～アンケートから～

- ・話題提供がとても勉強になりました。30分では短かった。
- ・身寄りのない方と時々関わることがありますが、今回のお話を聞いて、身寄りのない方々、施設はどんなところに不安や問題があるのかを知ることができました。そういった身寄りのない方々も事例を通して様々な対応があることを知ることができました。
- ・地域で活動している医療・介護以外の方の話を知る機会はなかなかないので、貴重な研修会になっていると思う。ケアカフェの話題提供がきっかけで町で講演会を依頼することもあり、地域に広めることもできている。今後も地域で活動している方の話を聞き、日常の仕事につなげていきたいと考えています。意見交換とあわせて行うと、話題提供者の方の話が短くなるのが残念なところ。



今回のカフェマスターは妹背牛町健康福祉課地域包括支援グループの末岡さんが担当していただきました。
ありがとうございました<m(_)_m>



Chat1・2では4～5人のグループに分割しました。
今回、名前の前に数字を付けランダムに割り振られるようにしましたが、前回に続き同じ方と一緒にいる方は何名かいらっしゃったようです(‘v’)





グループワークで、ケアする側の高齢化に加え、医療、介護、福祉以外の業者の方の高齢化も進んでおり、メンバーでサービスの不足といった今後の課題を共有することができました。
訪問看護ステーションいしずえ深川
疋田さん



グループワークで高齢者が増えているというのは皆さん同じような気持ちで、人手不足は共通の課題でどういったら人材確保ができるかなど話し合えました。
秩父別町 太田さん

閉会挨拶で、中神歯科医院の中神先生から、「ケアカフェは敷居が低く、ゆるい感じで、お茶を飲んで話をしていたらためになる知識がつくためお得なイベントです。」との挨拶がありました



～グループワークから～

- ・身寄りのない方の支援というテーマについて学べるだけでなく、多くの専門職の方とのグループワークを通して深川市の現状や施設の状況などを楽しみながら知ることができ、とても良かったです。
- ・近隣地域・多職種・他施設の現状や取り組みを知ることができました。高齢者が増えていいる中、買い物や病院受診などの交通がないことなど同じような悩みを抱えていることもわかりました。
- ・身元引受人について、石井先生の講話がためになったことと、グループで高齢化に伴う地域の課題について話し合うことができて良かったです。

～参加者の声から～

- ・成年後見制度の話では、弁護士の幅広い支援についても理解でき大変勉強になりました。北空知の高齢化事情も様々な意見があり、今後も何かの形で貢献したいと感じました。
- ・弁護士さんの話を聞く機会があまりないので、興味深く聞きました。弁護士さんの役割も多岐にわたっていると感じました。グループワークのテーマはもう少し具体的になると話しやすかったかもしれないです。テーマとしては面白いし、いろいろな意見が聞けて良かった。なかなかそのテーマに沿っての話題が考えられなくて、皆さんにたすけていただきました。
- ・(今後聞いてみたい話)
改めて石井弁護士の話、入院治療から退院・自宅支援に向けた取り組みと成功事例、在宅での看取り、施設での看取り、精神科医の話、家族会議、ACPの進め方、地域の取り組み、町おこし協力隊の話、高齢者移動問題、免許返納、行政書士、司法書士の話、身寄りがなくお金もない方の支援について等